

令和6年岡山県広報コンクール審査員講評

○ 特選作品について

部 門		市町村名 (過去の 受賞歴)	審査において評価された点
広 報 紙	市 部	美作市 (初受賞)	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の題字のデザインが目を引く。 ・特集記事「風の奏の君へ」が、見開きで茶畑の写真を配した大胆なレイアウトで、映画に関わった人のインタビューを中心とした構成となっているなど、市民の興味を誘引する工夫がなされている。 ・全体を通じて整然としたレイアウトで読みやすく、見出しタイトルにもメリハリがあり、必要な文言を絶妙なバランスで配置していてわかりやすい。
広 報 写 真	一枚写真	真庭市 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開幕に向けて、子どもが森の中に走って行く様子は、芸術祭への誘いや想像性を絶妙に表現しており、リード文の「皆さんも森へ出かけてみませんか」とも呼応しており、期待感を高める創造性豊かな写真である。
	組み写真	美咲町 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・県指定重要無形文化財に指定されている境神社の獅子舞の写真を大きく配置し、獅子の優美な舞と、宮棒と呼ばれる棒術や笛を吹く人たちの写真を組み合わせることで、大切に守り継ぐ地域の人達の思いが伝わるインパクトのある組み写真となっている。
映 像		奈義町 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・町に暮らす人たちの思いを声にフューチャーして構成することで、町の子育て環境や政策が良い影響を与えていることを独特なセンスで表現した内容になっている。 ・奈義町の様々なモノの切り取り方が斬新で、アーティスティックな映像や、最初と最後の「無」の時間帯も含め、効果的に音声や効果音を使うなど、映画を見ているようで、作品全体の完成度が高い。 ・映像表現も、町の風景を印象づけるもので、移住プロモーション動画としても使える動画になっている。